

第36回研修交流会&第16回ボランティアまつり ボランティアの力で元気なまちづくり

伊万里市ボランティア連絡協議会が、研修交流会とボランティアまつりを伊万里コミュニティセンターで開催しました。講演では、伊万里市社会福祉協議会の井手亮太りょうたさんが、ボランティアに求められる役割や重要性などを話すと、参加者は大きくなずいていました。会場には、12のボランティア団体による手作り手芸品などの販売やバザー、琴の体験、子どもの遊び場コーナーがあり、大盛況でした。また、4団体によるステージ発表があり、会場の皆さんも踊りに加わって、笑顔があふれていました。



↑ステージ発表のよさこいでは、来場者も一緒になって踊り出すほどの盛り上がり

男女協働参画子育て講座

ファミリーフィットネス&講座

男女協働参画懇話会『いまりプラザ』と子育て支援センターぽっぽが、市民センターで子育て講座を開催しました。CROSS OVER TAKEO-BRANDクロスオーバータケオブランド代表の西俊祐しゅんすけさんが、子どもとスキンシップしながらできるフィットネスを伝授。体をほぐした後は、父親を中心に活動する子育てサークル『いまパパ』共同代表の中村克朗かつあきさんが、実体験を通じた男性の育児参画の大切さを話し、参加者の心をほぐしました。2人の講師は、「子どもが成長するまでの限られた時間を楽しんでほしい」と伝えました。



↑参加した親子に、子どもを抱きかかえてできる筋力トレーニングを教える講師の西さん（右から1人目）

地域創生推進スキーム『SCBふるさと応援団』寄付金贈呈式 官民一体となって地域活性化に取り組む

全国の信用金庫の中央金融機関である信金中央金庫（東京都）が創立70周年を記念し創設した、『SCBふるさと応援団（企業版ふるさと納税）』事業に、市の魅力を創出する事業が採択され、1,000万円の寄付がありました。贈呈式には、同金庫福岡支店の杉村太一たいち支店長と伊万里信用金庫の中山武重たけしげ会長、山口宏ひろ理事長が出席。杉村支店長は、「大川内山のブランド力向上を期待します」と話し、深浦弘信ひろのぶ市長は、「シティプロモーションの強化と持続可能なまちづくりに生かしたい」と謝辞を伝えました。



↑信金中央金庫の杉村支店長（右から2人目）と伊万里信用金庫の中山会長（同3人目）、山口理事長（同4人目）

前伊万里市長 塚部芳和さんから著書の寄贈

著書『市長雑感』と『川柳こぼれ話し』

塚部芳和さん（立花台三丁目）が、市長在任時に広報伊万里に連載していたコラムと、趣味の川柳や短歌、俳句272作品をそれぞれ1冊の著書にまとめ、市に3冊ずつ寄贈しました。塚部さんは、「コラムは、振り返ると市民への応援の意味もあったと感じている。川柳などは、佐賀新聞の文芸欄に掲載された作品を中心に集めた。皆さんに読んでもらえればうれしい」と話し、市民図書館の鴻上哲也てつや館長は、「市の大切な記録です」と謝辞を述べました。寄贈された著書は、市民図書館で貸し出しています。



↑著書を寄贈した塚部さん（右）と鴻上館長